

● 巻頭言

前校長 鳥屋尾 史郎



鳥屋尾前校長先生

昨年の創立110周年記念式典ならびに祝賀会では、築地工芸会の皆様に大変お世話になりました。あらためて深く御礼申し上げます。今年は都立工芸にとって創立111年目にあたり、ますますの発展を期してがんばっていきたくと考えています。

築地工芸会のホームページにも掲載されましたが、本校アートクラフト科を卒業した小野 葉さんが、昨年末に行われた第57回日本クラフト展において経済産業大臣賞・日本クラフト大賞を受賞されました。創立110周年の祝賀会や、進路指導として行われてい

こうげい

誠実 元気
信愛 規律

る進路ガイダンス等において、第一線で活躍している若い世代の卒業生のお話を聞くと、皆さんがそれぞれの仕事で才能を開花させ、これまで誰も思いつかなかったような作品を制作し、実際に製品化されていることをうかがうことがあります。このことは、出身校として心からうれしく感じることで、校長は学校の宣伝マンとしているところ、卒業生がこんな賞を受賞したとか、あのポスターを作ったのはうちの卒業生だとか、現在売り出されたこの製品をデザインしたのもうちの卒業生などと言って歩いています。

こういった情報をできるだけキャッチするために、いろんな場面で取り上げられる若いクリエイターに係る情報に対して、できるだけ敏感に反応するように努力をしていて、少しでも関係がありそうな話を聞くと、必ずインターネットで検索しています。検索した結果、卒業生がヒットするとやはりとてもうれしく感じます。

現在、インターネットで自分が必要としている人材を探したり、才能がある若者を探したりすることは、世界中の人が当たり前に行うようになっていきます。インターネットでヒットした情

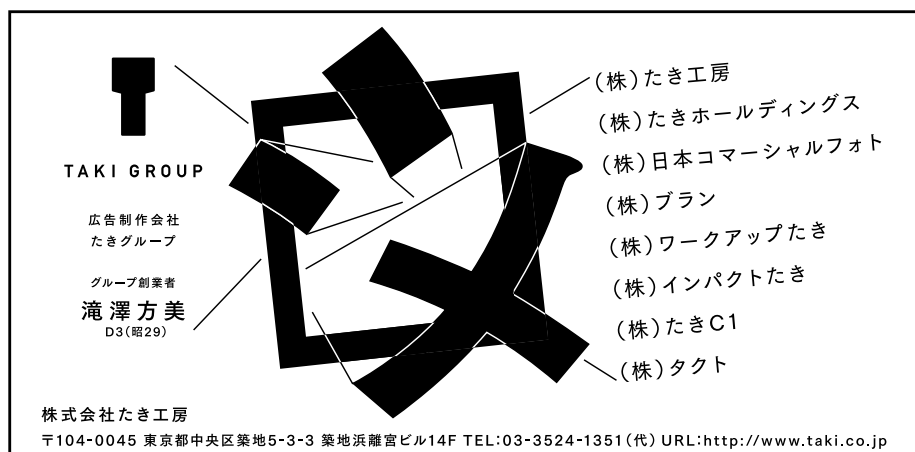
報をさらに広げて人探しを行うことも普通に行われていることです。こうした社会状況を鑑みると、これから世界で活躍したいと考えているクリエイターは、自分を見つけてもらえるような情報発信をしていることがとても大事ではないか、もちろん今までもそのことはとても大事ではありましたが、コンピュータとネットワークが高度に発達してきている現在、自分にはどんな能力があるのか、どんなものをつくれるのか、そしてつくったものにはどんな魅力があるのかといったことを、検索した人に必ずヒットしてもらえよう、うな見せ方ができるかどうかで、チャンスをつかむ分かれ道となるような気がしてなりません。

第一線で御活躍の卒業生は、SNS、インターネットの活用をきつと積極的におこなっていらつしやると思います。良いものをつくることができ、良いものをデザインすることができ、のは、都立工芸を卒業したときには必ず身に付いていなければならない能力ではあります。その力を世の中の人に認めていただくような工夫は、時代や社会状況が変化していく中で、生徒たちに考えさせていかなければならない大きな課題であるのだろうと思います。

ものづくりやデザインの第一線で活躍するということは、すなわち激しく変化する現代社会の最前線を切り開いていくということでもある、そんなことも考えながら現役生徒の指導にあたっ

ています。

ところで、卒業生の皆さんが様々な作品制作や成果の記事をホームページに掲載される際に、都立工芸卒業をどこかに記載して、検索にヒットするよううにしておいていただけませんかでしょうか。現役の生徒たちが検索したときに、卒業生がこんな活躍をしているということを知って、ますます実習の励みとなっていくに違いありません。どうぞよろしくお願いいたします。



滝澤 方美 (昭29・D卒) (株)たき工房 (株)日本コマ・シヤルフोट (株)ワイクアップたき (株)インバクトたき (株)タクト (株)プラン (株)たきC1 (株)たきホールディングス	築地工芸会 監事 (有)ステーション・エム 代表取締役 細江 邦雄 (昭41・M卒)	中京工芸会 会長 下山田 信一郎 (昭23・M卒)	関西工芸会 会長 丸山 士郎 (昭43・A卒)	築地工芸会 会長 (有)坂巻工芸社 代表取締役 坂巻 章雄 (昭55・A卒)
 撮影・神山隆夫 (昭43・A卒)				築地工芸会 理事 (株)スパイク 代表取締役 桜井 洋一 (昭43・F卒)
石原 義久 (昭30・P卒) 石原エディター事務所	(有)東新幸社 代表取締役 井上 正治 (昭42・A卒)	(株)ソフケン 代表取締役 駒村 武夫 (昭40・D卒)	(株)フォレスト 代表取締役 会長 茂木 益雄 (昭30・P卒)	「水平開きノート®」発売元 (有)中村印刷所 代表取締役 中村 輝雄 (昭38・P卒)
荒井 拓哉 (昭35・D卒) 築地工芸会 理事	築地工芸会 理事 神山 隆夫 (昭43・A卒)	築地工芸会 副会長 梶 広幸 (昭44・D卒)	中京工芸会 副会長 五反田 稔 (昭35・M卒)	築地工芸会 理事 中山 清 (昭33・M卒)

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

昨年11月17日以降、本年3月12日まで、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

今井健三、下山田信一郎、中村輝雄、石原義久、山本凱子、内藤亮一、加藤勝巳、日置雄毅、曾我部上、愛甲喬、富岡征男、香高広文、菅崎一洋、佐野一義、難波興一郎、沢崎孝子、高橋身宣、中山清、橘正春、川島智美、宮崎忠夫、服部一、望月徳夫、渡辺清二郎、丸山士郎、牧野昇、牛頭和美、木次利秋、田近清、大野早苗、伊藤寛那、池田正弘、関根伸司、齊藤誠、鯉沼誠司、塩原巖、秋田聖胤、安藤孝久、米川昌俊、市原博信、高橋佳久、小川眞夫、菅香世子、藤田進、茂野勝、菊地道夫、藤原伸一、数野博久、小野塚均、藤井賢治、野島進、村上繁、米川昌俊、柿坪英志郎、岡田二郎、中村義饗、三浦保之、平井光吉、駒村武夫、綿谷佳泰、柿坪正晴、須坂嘉允、鹿野文浩、佐々木安英、小池博、岡野哲夫、和田善幸、山田敏雄、関口信幸、野永由美、中村勇人、松原美穂、傳法谷珠子、矢ヶ崎敏和、小林清一、大山幸夫、堀井輝和、鍋島久明、桐淵典記、吉口一広、木崎雅江小池孝、大久保健二、怡土昌子、菊間彩日、荒康弘、所和男、池田博、及川正子、飯塚邦雄、佐々木正和、石川勝、井出賢一、羽永慧、西直吉、大

賀勉、洲崎健吾、鈴木ますみ、北村一子、丹羽治久、伊藤朝子、遠藤成則、鶴岡保、関口信幸、奈良本光治、地濃正明、佐藤光利、傳法谷珠子、田島三郎、真野隆夫、高橋孝雄、籠谷雅博、小島貴代子、小口輝夫、亀田義明、北田孝志、大山幸夫、山岸伸治、井戸健輔、堀内友子、恩田隆志、西井和男、宮内捷、松本稔、今井一生、神山(田上)智子、石川時彦、大久保健二、久保田晃、杉田美子、三木雄志、桑原満、池田博、亀井正弘、福島潤、大賀勉、多田洋一、浅岡輝彦、堤芳子、福島彰生、片岡笑子、村田節子、重田明美、笠井伸枝、山田康幸、千明敏裕、中波由美、帆足宗二郎
平成29年度累計
六〇九、五〇〇円

◆次期会長 承認の件

会長(当番科)は、2年交代となっており、2018年4月からはG科が当番科となるが、次年度の会長適任者がいないという報告があったため、坂巻現会長にあと1年会長を延長して務めていただくことが提案され、理事全員の賛同により承認された。

●母校だより 2018卒展

2018年3月2日(4日、東京都美術館(上野公園内))において「2018卒展」が開催されました。
A・M・I・G・D各科の3年間の

勉強の成果が一堂に展示され、連日たくさんの方が来場し作品を見学されました。DMデザイン・デザイン科3年 齋藤ひな



卒展受付の皆さん

訃報

会報170号以後、ご連絡がありました皆様です。ご冥福をお祈り申し上げます。()内は逝去された日です。

田中 榮一氏	昭11・A卒	(29・11・10)
難波興一郎氏	昭16・A卒	(29・11・9)
村田 道紀氏	昭16・P卒	(29・11・27)
戸ヶ崎昌俊氏	昭17・M卒	(29・11・30)
大森 昭二氏	昭18・F卒	(29・10・11)
吉岡 武氏	昭26・M卒	(30・1・17)
青柳 信雄氏	昭28・M卒	(29・6・3)
高橋 洋一氏	昭28・M卒	(29・7・26)
田中 定義氏	昭29・P卒	(29・7・26)
八木沼秀夫氏	昭31・D卒	(30・2・25)
小島 光雄氏	昭32・M卒	(29・9・15)
岡田 二郎氏	昭32・F卒	(30・1・11)
金子 嘉明氏	昭32・F卒	(30・2・8)
塩塚 吉彦氏	昭32・P卒	(30・2・8)
小野 博之氏	昭34・A卒	(29・11・15)
木村 桂三氏	昭37・D卒	(29・12・2)
伊能 範正氏	昭41・M卒	(22)

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

技術資料の制作

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション.エム

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

伊藤 義広氏	平8・G卒	(29・9・25)
草場 光信氏	平6・G卒	(29・9・25)
佐々木健次氏	平4・M卒	(28)
富川美和子氏	平2・I卒	(27・2・22)
河原 英雄氏	昭63・M卒	(29・6・4)
高原 眞智子	昭47・D卒	(30・1・29)
加藤 隆己氏	昭47・P卒	(28・11)
池上 和子氏	昭45・P卒	(29・7・18)
前田 耕一氏	昭43・A卒	(29・11)
田近 清氏	昭42・M卒	(29・11)
久保田耕一氏	昭42・A卒	(29・9・3)

黄綬褒章を受章された

坂巻 章雄さん（昭和55年・A卒）

築地工芸会会長 坂巻章雄さん（昭和55年A科卒・坂巻工芸社社長）は2017年秋の褒章で、黄綬褒章を受章されました。黄綬褒章はその道一筋に励んだ人をたたえる褒章で、坂巻さんの永年にわたる宝飾品創作活動が高く評価されたものです。

坂巻さんに、黄綬褒章受章で感じられたこと、創作で大切にしていること、工芸高校時代に学んだこと、工芸高校の後輩への思い、これからの創作活動への抱負について、語っていただきました。



黄綬褒章 皇居拝謁

黄綬褒章の受章について

22年続けてきました、技能五輪全国大会（全国から集まる青年技能者の競技会）の開催支援や若手技能者の育成、業界団体内での活動等が評価され、平成29年秋の叙勲に際し、東京都と一般社団法人日本ジュエリー協会より推薦を賜わり、黄綬褒章拝受の栄に浴し、身に余る光栄と感謝致しております。

11月14日午前に厚生労働省の講堂で執り行われました伝達式に出席しました。講堂には、全国より緑綬褒章、黄綬褒章、藍綬褒章の受章者ら160組の夫妻が参集しました。

午後から皇居に参内し、宮殿「春秋の間」に於いて、天皇陛下に拝謁しお言葉を賜われました。天皇陛下下拝謁後、記念撮影が有りましたが、その空き時間には宮内庁の職員の方より、宮殿の成り立ちや皇居内での行事の様子な



褒章伝達式で 坂巻さん

ど、普段耳にできない話を伺うなど貴重な体験も致しました。

創作にあたって

— 現在までの創作の軌跡 —

昭和55年、工芸高校を卒業し父が営む「有限会社坂巻工芸社」に入社と同時にアメリカ宝石学会（G I A）の通信教育も受講し始めました。午後6時まで宝飾品の製作を行い、その後4～5時間の受講レポートを作成する日々が約1年半続きました。

通信教育終了後、宝石が鑑別できる職人として、製作活動が始まりました。

取引先は、銀座の老舗宝飾店や著名な宝石デザイナーからの受注が中心であり、たとえ親子であっても商品に妥協は許されませんでした。そのような環境が、今の審美眼を育ててくれたと思います。

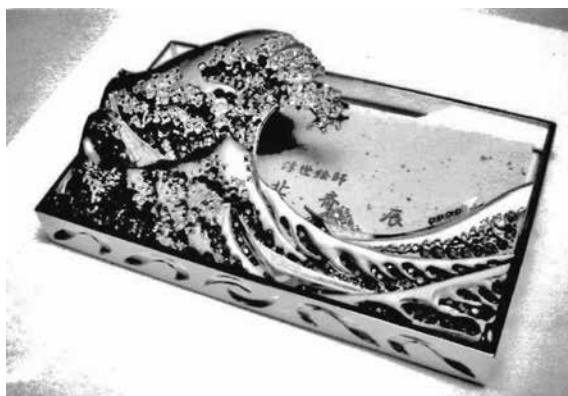
平成2年、父の他界により会社を引き継ぎ、私にとって大きな変革期となりました。

仕事をしていても自分がどの程度の力量なのかと不安に襲われることもしばしばありましたが、平成7年に1級貴金属装身具製作技能士の認定を受け、平成13年には技能グランプリ大会に優勝し厚生労働大臣賞を受賞しました。

その受賞が、今回の褒章受章の契機となりましたが、今でも仕事を始めた時の初心を忘れないよう、心がけています。



花園を舞う蝶
K18, Pt900色石使用 指輪



富嶽三十六景
K18YG, K18WGサファイア・ダイア使用 名刺入れ



東京都知事賞 Pt900
タンザナイトダイヤ入り指輪

坂巻工芸社について

私は、宝飾品加工業を営む家の3代目として工芸高校を卒業後、この職業に就いて38年となりますが、実際にはもう少し長く親しんでいます。幼いころより作業場で遊んでいましたし、10歳の頃より毎週末にはプラチナ地金の酸洗いや吹き伸ばしまでの作業を手伝い、現在の基礎ができたように思います。

また、宝飾品の製作に加え、技能五輪全国大会の委員を務めるなど、間接的に若手技能者の育成に協力させていただいています。

創作において大切にしていること

私が工芸高校を卒業後、実家の仕事を始めてもなく初代の祖父より「仕事はぞんざいにしてはいけないよ（仕事は丁寧にしなさい）」と言われました。

丁度その時期は、精密ロストワックス鑄造法（キャスト工法）が開発され、手造り全盛からキャスト製品が徐々に増え始め大量生産時代に移行し始めたころでした。2代目の父は、キャスト工法を取り入れつつも手造り品に拘っていました。

父とは約10年一緒に仕事をしました。自他共に一人前と認められ始めた頃、不慮の事故で他界し、私が主となり仕事を続けることとなりました。

先代より引き継いだお取引先は、銀座の老舗宝飾店が中心で納品時にも厳

しい検品がなされておりました。私は、単に検品に通ること以上に、お客様が実際に装着されることを想像し、フィット感の良い製品づくりを信条とし、受け取ったお客様の希望を越えるお品作りを心がけ、お褒めのお言葉も幾多と頂きました。また、お客様より製作者の逆指名を頂き、受注する事もあり作り手としてたいへん励みになります。



製作中の坂巻さん

在校生の皆さんへ

工芸高校時代に大きな影響を受けた方々は大勢おりますが、やはり3年間共に過ごした二人の恩師と39名のクラスメイトではないでしょうか。3年間過ごした時間はとても貴重な時間でした。

工芸高校で学んだ事の延長上で仕事をしている者、工芸とは違う道に進んだ者、様々な職業、様々な生活がある

中で高校時代に過ごした3年間は大きな影響力があります。

不定期に開かれるクラス会では有りますが、皆が集まれば気持ちは高校生時代に直ぐに戻ります。卒業後40年を迎える現在でも、利害関係もなく本音で話ができる大切な仲間です。

在校生の皆さん、いま学んでいる工芸高校の卒業生は色々な分野で活躍されています。皆さんも将来、様々な分野で活躍されることと思いますが、その根底には、いま一緒に学んでいる仲間がいること、様々な個性が刺激を受け合ってあなた自身を高めていることを忘れないでください。

受賞歴

平成13年

第20回技能グランプリ 第1位 厚生労働大臣賞

平成16年

東京都優秀技能者表彰 (東京マイスター)

平成23年

卓越技能章 (現代の名工)

平成23年

中央職業能力開発協会 会長賞 (永年功労)

平成29年

黄綬褒章

略歴

昭和55年

東京都立工芸高等学校 金属工芸科卒業

昭和55年

(有)坂巻工芸社 入社

平成3年

(有)坂巻工芸社 代表取締役就任

平成13年10月

1級貴金属装身具技能士 取得

平成10年6月／平成23年3月

技能五輪全国大会 貴金属

装身具職種 競技委員

平成23年6月／現在

技能五輪全国大会 貴金属

装身具職種 競技主査

平成16年8月／平成21年3月

技能グランプリ 貴金属装

身具職種 競技委員

平成22年5月／平成23年3月

技能グランプリ 貴金属装

身具職種

競技主査 兼 運営委員

平成19年2月／平成20年3月

2007ユニバーサル技能

五輪国際大会

貴金属装身具職種委員

平成28年7月／現在

技能五輪国際大会 職種別

強化委員

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064

東京都千代田区猿楽町2-8-16
平田ビル8階

電話 03-5577-3025

FAX 03-5577-3027

Email nakayama@ifpat.gr.jp

● 校友の活躍

第57回 日本クラフト展で
経済産業大臣賞・日本クラフト
大賞を受賞された

小野 栞さん（平成25年・A卒）

平成25年A科卒業の小野栞さんは、第57回日本クラフト展で最高賞の経済産業大臣賞・日本クラフト大賞を受賞されました。

東京ミッドタウンタワー・リエゾンセンターにおける授賞式の様子と、小野さんの作品制作に対する考え方や、工芸時代からの思い出などを語っていただきました。



受賞作品の前で 小野栞さん

授賞式に先立って、審査員の講評、

小野さんへのインタビューが行われました。講評では「作品を見た瞬間、ボデラインの美しさに引き込まれ、目の前に図形の姿が現れた。『Skin』というタイトルのきいて深く納得するとともに確かなセンスの手ごたえを感じた。よく見ると細い絹を数本集めて一本の糸としたものを主題とし、漁網を編む網編みの技法で作られている。一本の糸を網目に編んでいく時間と労力を想像すると確かな思いの強さが伝わってくる。織物や編み物という技法を用いることで縫い目のない服を制作したいと考え、ネット（網）を思いついたという。網目の大きさやその密度を変えることで美しいラインを生み、と同時にデザイン的にも魅力あるものとしている。そもそも網編みは伝承の技術である。それが新たな発想により、全く新しい造形が生み出された。本作品は作者のNEXTであるとともに、クラフトのNEXTでもあるといえよう。」と発表されました。

小野さんは現在、東京造形大学大学の学生ですが「学生で大賞を取られたのは二人目です」と主催者から披露されました。

続いて小野さんから受賞作品について、その考え方や制作の苦労点、試行錯誤した点を語っていただきました。

受賞作品について

今回の「skin」は服を着て生活する事が当たり前になっている中で、「服」というものが人の一部として存在しているのではないかと考えたところから制作しました。本来は人の1番外側にあるはずの皮膚ですが、人が服を着ている事によってその外側にも一つの皮膚「skin」が出来ているイメージで、服を皮膚のように見立てて作っていました。皮膚のように体に添い、人が動けばそれに従うような、自由自在に動くテキスタイルにするためにネットを構築する網編みの技法をアレンジして制作しました。皮膚であり、服であるものにしたかったので体にくっついたり、体から浮かせたりするために糸を引き揃えて一本の糸自体に強度を持たせたり、網目を細かくしたり大きくしたりしています。この服は螺旋を描くように筒状にして上の段の目に結んで網目を作っており、1つ目の大きさや目数のコントロールが難しかったです。



作品についてインタビューに
応える小野さん

作品制作に対する考え、制作姿勢

大学院ではテキスタイルデザインを専攻し、日々制作していますが、「布」という枠の中で何か作るとなった時にいつも人に纏わせたいと考えてしまうので、服の形をしたテキスタイルを制作しています。服を作りたいという強い思いは全く無いのですが、ただ服が好きなのだと思います。

感覚的にアーティストの様に表現することが苦手なので頭の中で表現したいイメージを思い浮かべながらデザインにおこし、糸の本数や目数、重さなどすべて計算するようにしています。また、ファッショントとテキスタイルは作り方も考え方も全くの別物である思っているのので、服を作っているもファッションデザインではなくあくまでも「テキスタイルデザイン」として制作



授賞式で大賞を受ける小野さん

しています。

工芸高校から東京造形大学へ

工芸高校に入學した当時は、ものづくりが好きでジュエリーを作れるようになりたい！という気持ちでいっぱいでした。そこで初めて素材を学び素材に触れ素材で制作するということを体験し、それが楽しくてしょうがなかったです。

今思えばもともと身に付けるものを作りたいと考えていて、この時の経験が今の制作に直に繋がっていると思います。

大学進学はもっと作りたいという思いからでした。東京造形大学を見学した時に、織物体験をして手で物を作ることに改めて感動しました。きっかけに東京造形大学を受験しました。直感的に決めてしまった大学でし



たが、先生方はとても親身に正面から向き合ってください、デザイナーとして第一線でご活躍されている方からの指導はとても刺激的でとてもいい大学に通えているのだと実感する日々です。自由に通わせてくれた両親にも感謝しています。

1995年 東京生まれ

2013年 東京都立工芸高等学校

2013年 アートクラフト科卒業

2013年 東京造形大学テキスタイル

デザイン専攻入学

2014年 八王子織物工業組合主催

「Mulberry City」ネクタイ

学生デザインコンペ」入選

2017年 東京造形大学卒業制作展

「ZOEI賞（優秀賞）」

受賞

2017年 東京造形大学テキスタイル

デザイン専攻卒業

2017年 東京造形大学大学院デザイン

研究領域入学（在学中）

2017年 サンフランシスコアジア

美術館「TUBOBI

COLLECTION」

出展

2018年 第57回日本クラフト展

「経済産業大臣賞・日本ク

ラフト大賞」受賞

小野葉ホームページ

<https://shiori-ono.com>

須田賢司さん（昭和48・F卒）の

木工藝ギャラリー「清雅—

SEIGA—」がオープン

昭和48年F科（現I科）卒業の須田賢司さん（重要無形文化財「木工藝」保持者・人間国宝）は、群馬県甘楽町にある工房に併設のギャラリー、木工藝ギャラリー「清雅—SEIGA—」をオープンしました。

土日のみのオープンで、不定期に休廊もありますので、ホームページで正確なめの上、お出かけくださいとのことです。

URL: <http://www.mokkougai.com>



木工藝ギャラリー「清雅—SEIGA—」

須田賢司さんの「いあいさつ」から

明治40年（1907）、宮大工だった祖父が上京し、近代木工藝の基礎を築いた前田桑明先生の東京日本橋の工房の門を叩いてから111年、祖父桑

月、父桑翠と三代に亘って木工藝に取り組んで参りました。

私がこの群

馬甘楽の地に工房を移転してから26年、

この地で制作

を続け2014年、重要無形文化財「木工藝」保持者、いわゆる人間国宝に認定いただきました。

40年余になる私の木工藝への取り組みは、木を素材とした人間の物づくりの長い歴史から見ればほんの一瞬のことにすぎませんが、多少なりともその成果を認めていただいたものと大変光栄に思っています。

そこで多くの方に作品をご覧いただき木工藝へのご興味とご理解を深めていただくために、ささやかですがギャラリーを開設することと致しました。私の制作上のモットーである「清雅」と名付け、作品やその背景をご覧いただく場と致しました。

すでに私も華甲を過ぎ、高い志を持つ次の世代にこの仕事をバトンタッチしなければなりません。木工藝の歴史の末端に座すものとしてのその責任を日々感じています。ここがその継承・練磨の場ともなれば望外の喜びです。



木工藝ギャラリー「清雅—SEIGA—」オープン記念展

2018年1月吉日

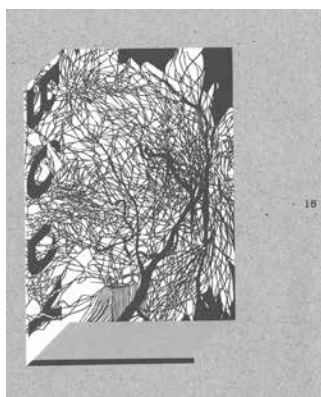
● 校友の活躍

◎ 個展

永井裕明個展「Book Face」

(昭和51・D卒)

表参道 HBギャラリー

永井裕明さんの作品
Book Face

水口咲さんの作品

◎ 出品

作家による

うるし・おわん・うつわ展2017

水口 咲 (平成5・D卒)

西武池袋本店6階

アート・ギャラリー



個展会場で 岩井昌代さん

◎ 個展

第42回 岩井昌代個展 (昭和39・D卒)

ヒルトン東京

ヒルトンピアアートスクエア

◎ 出版

風刺漫画 アベ政権

橋本 勝 (昭和35・D卒)

プラスチック
金型製作真空成型型
プレス抜型圧空成型型
トムソン抜型企画
デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V-MOLD バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11

tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559

埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5

tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-

<http://www.vmold.co.jp/>

e-mail

caduser@vmold.co.jp

●津久井先生の「さまざまの記」より

全M六(昭二九) 卒 布施 達也

前々号に「津久井正幸先生と私の砂町ツナガリ」を載せて頂きましたところ、先生の事をもっと知りたいとのご要望が多数ありました。

しかし私の持ち合わせた情報は記載した位しありませんので、前号で紹介した「さまざまの記」を抜粋してご紹介致します。

「さまざまの記」とは、平成十二年(2000年)五月五日に「東京府立工芸学校 第二本科九期の会」即ち、津久井先生が発行された先生の同窓会誌です。その中から先生が書かれた「自分史部分」を不遜乍ら私が独断で編集し、ここに続けて記載致しました。頭脳明晰にして努力家の先生が偲ばれます。尚、先生を含めご兄弟六名が工芸OBと言う事を付け加えておきます。

★はじめに

平成一二年一月の築地工芸会新年会で、連絡可能な同期二七名(金機木印)の皆さんの近況をまとめてみることになりました。

発行に当たっては後輩の大林真理子さん(D二〇昭四六)に編集・装丁共全面的な協力をお願いしました。紙面を借りて御礼申し上げます。

★仕事①

家庭の事情で小学校三年生から、内職やアルバイトを始めましたが面白くもあり、人情の機微に触れたりもありました。

高等小学校二年生の秋、家庭の事情で砂町の鈴木鉄工所(今は上場企業)に見習いで就職しました。会社は自宅前にあったので社長夫人には「前の息子」「前の倅」とか呼ばれていました。職場では良い親方に恵まれ、原寸場作業が主体でした。

当時既に労働基準法があつて、日給六〇銭。九時迄の残業で夕食が出て九〇銭。当時ラーメンが五銭でした。

学校は出席日数が足らなかったが、担任の山本先生のご配慮で卒業出来ました。初月給を頂いた時お菓子の折箱を持ってお礼に伺ったところ大変叱られました。「家計の足しにしないさ」と。

★工芸

その後、国立東京医科歯科大学 基礎医学研究生理学教室の研究の手伝いに転職しました。そして二年遅れで工芸に入学しました。

野球部では世話人となり四年生時には二三試合消化しました。専ら野球をし乍らの卒業、という感じですが先生方からは無意識のうちに影響を受けていると思います。

★兵役

兵役は現役合格で、「近衛歩兵連隊」への通知を受けましたが、理系系学生のため徴兵延期となり軍隊生活は経験しませんでした。

★仕事②

昭和二〇年秋、教授の推薦で生理学教室助手(文部教官)に任官し学生の実験・実習の指導に当たりました。

その頃、学制改革が始まり東京都に招かれ、文部省から出向の形で二年から工芸に理科担当(専任)で就任、五八年に退職しました。

就任当時は終戦直後の粗悪な生活環境で生徒の肺結核・消化器系疾患が多かったが、三二年に完全給食が始まってから漸減しました。

又、経済的困窮者もあり担任として多少の援助が必要なこともあった。宿泊先に困り私の家で二年程過ごした者もいました。職場探しにも苦労しました。一番多く世話したところは東京医科歯科大で、約三〇人位でした。医科歯科大の先生方には大変ご援助を頂きました。

★同窓会

昭和二六年頃、当時の石引一郎(第五代)校長から同窓会の面倒を見て欲しい、但しボランティアで、との要請があり止む無く引き受けました。しかし築地工芸会には資力も無く、役員と小田原評定を続けました。

以来半世紀、母校の周年行事・記念

誌・機関紙・名簿などの発行、講演会の開催を続けて今日に至りました。

現在事務局長と言う名で「実質一人事務局」を皆さんのご協力を頂き乍ら続けていると言うところです。

今後共ご協力をお願いします。

★健康

今迄のところはお陰様で大病・入院もなく、まあまああゝの生活を送っています。現在、毎月一回内科でチェック。眼科・耳鼻咽喉科・歯科については永年夫々同じ先生に診て頂いております。そんなわけで、昔の様にはまいりませんが、今のところ年齢相応な元気の部類に入る、と思っております。

平成一二年三月二〇日

つくい まさゆき

★あとがき(布施注・大林様が書かれたあとがきの抜粋)

ご縁あつて皆様の文集作りをお手伝いさせて頂く機会を得ました。

津久井先生には、日頃から事務局長としてのお世話を頂いておりますが、いつも変わらぬ細やかなご配慮と穏やかなお人柄の「ひみつの訳」を、今回ほんの少しだけ覗いたと思います。

皆様、益々仲良くお元気で、お過ごし下さいよう心よりお祈り申し上げます。そして私も末席に繋がせて頂いております。

平成一二年四月 花の下で

大林 真理子 拝

● クラス会

● 機鵬会（昭和32年定時制M科卒）クラス会

卒業以来60年続いているクラス会（機鵬会）は、全員が傘寿を迎える年になりました。高齢になり、会としての活動は今回の例会で終了することになり、それを記念して文京区の椿山荘で1泊2日の日程で豪華に行いました。参加者は12名でしたが、久しぶりに参加してくれた人もおり、フランス料理やワインを楽しみました。

二次会ではそれぞれが工芸時代の思い出話を和気藹々と語り合い、翌朝は椿山荘の庭園を散歩したりしてお別れとなりました。（三田村幸治）

● 昭和35年図案科卒のクラス会

平成30年1月27日、卒業後58年が経過した中で、在命者と消息の分かるクラスメイトが集いクラス会を開催しました。八丁堀の私の写真スタジオには、元気な14名が参加しました。

前回からは、約10年ぶりでしたが、実年齢の76歳にしては皆60代後半といった印象でした。一人ひとりの近況報告では、長い者は15分ぐらいいも語り、年金と病気の話題は



機鵬会（昭和32年定時制M科卒）クラス会



昭和35年図案科卒 クラス会



「えふ13会」クラス会



東芝万年会平成29年度総会

皆無でした。

宴もたけなわといったところで、
「高校三年生」を合唱、そして写真撮影と続き、次回は4年後の傘寿を記念して再会することと散会となりました。（鶴田昭夫）

● 「えふ13会」クラス会

「えふ13会」は、工芸高校定時制木材工芸科第13回卒業生クラス会の名称です。

卒業するときには30名のクラスメイトがいましたが、その後6名が他界、現在6名が連絡先不明で18名の健在が確認されています。平成29年11月18日に1年ぶりのクラス会が、池袋・西武百貨店前の台湾料理「青龍門」で開かれました。

出席者は10名とやや少なかったですが、76〜77歳となったクラスメイトは皆元気で、少しばかりの病気や不具合を抱える人もいましたがむしろ家族や親の心配をするぐらいの様子、全員から近況報告がされ、健在を確かめました。

土曜の午後開催ということで、帰宅時間もあまり気にせず、1年後の再会を確認し、散会しました。（村奈嘉義雄）

● 東芝万年会 平成29年度総会開催

平成29年11月20日（月）に大江戸温泉物語の「和風レストラン・川長」にて東芝万年会総会を開催致しました。今回は11名のご参加をいただきました。当日は東京駅に集合し、丸の内ビル前か

らシャトルバスで晩秋の都心の風情を楽しみながら、お台場の大江戸温泉物語へ向かいました。大江戸温泉物語では最初に全員が浴衣に着替え、1泊旅行の感覚となり、温泉でゆつくりと日頃の疲れをいやし、くつろぎました。総会は室谷会長の乾杯の音頭でスタートしました。全員が浴衣姿で飲み物食べ物に舌鼓を打ちながら、それぞれの近況やトピックス等の話題で盛り上がりしました。仕事のこと、健康のこと、家族のこと、おめでたいこと等すぐに打ち解けた雰囲気、1年のブランクを感じさせず、楽しい会となりました。閉会后シャトルバスで品川に出て、来年もまた、元気に再会することを約束してそれぞれに帰途につきました。（松本 孝）

●『大島先生を囲む会』

昭和45年卒 全日制M1M2合同クラス会

平成23年3月に発生した東日本大震災により、その後同窓会や旧友とのクラス会の開催が大幅に増加したと言われています。これは震災により多くの被災者が生じたことにより、元気な内に、「懐かしい昔の友と再会したい」と言う、社会と環境の大きな変化と思われる。M1M2合同クラス会も震災翌年の年賀状で「今年はクラス会やろう」との幹事団同士のメッセージにより、有志3名で企画運用を開始し、毎年秋から冬に掛けて6年連続で開催しています。1年ごとにM2担任であった大島文夫先生をお招きし、近年は先生の自宅に近い、品川、五反田、新橋界隈に会場を設定し、毎回15～18名の出席者を得て、昔話に花を咲かせています。

昭和42年の入学時は総勢で88名在籍していましたので、決して多くの旧友と一同に会している訳では有りませんが、住所録や名簿を通して、直接連絡の取れる方が30名程度なので、6割前後の出席を得て、「継続



『大島先生を囲む会』 2016年度



『大島先生を囲む会』 2017年度

することに意義」を感じ、実施しています。今回の報告は昨年工芸会報への報告が遅れましたので、一昨年、昨年の2回分を纏めて掲載します。

一昨年は前述した、五反田の酒肴・蕎麦田治の土曜日の夕方を貸し切って開催しました。丁度客席数が20人程度のお店で、日替わりの日本酒の銘酒と、締めのお家製手打ち蕎麦に舌鼓を打ちながら、「何回繰り返しても良い昔話」で大いに盛り上がりました。また昨年は、新橋の個室和食安曇野庵のテーブル個室を貸切り、料理総てが個人盛り、専門スタッフが2名付いてサービスに努めて頂き、狭めの会場でしたがまたまた盛り上がりました。65歳を超えた年金世代の話題は、健康問題が主体となるのが道理のようで、改めて次回の再会を期して散会となりました。

(遠藤恵樹、岡嶋弘和、笠井 剛、佐藤守克、中村高久)

母 校 だ よ り

—— コンクール等の入賞者・成績 ——

全 日 制

ART CRAFT

●東京ドームホテル 第6回「AQUA ARTデザイン・コンペ」

最優秀賞「イースター島の夏」2年
芙蓉総合リース社長賞

「妖精も、七夕始めました」2年
優秀賞

「子どもの世界の夏休み」2年
「おばけ祭り」2年
「夏だ！レゴだ！花火大会だ！」2年

●国際コイン・デザイン・コンペティション2017

学生部門審査委員特別賞
3年 佐藤寛竜

●第11回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリー デザイン画コンテスト

法人会会長特別賞 3年 松浦美帆
ヒコ・みづのジュエリーカレッジ高校生デザインコンテスト

「シューズ部門」 ムーンスター賞
2年 佃 美咲

「ジュエリー部門」 審査員特別賞
2年 土屋朋美 1年 庄田龍生

入賞 2年 蒲地璃選 佐藤ゆめみ
西山未桜

1年 武内遙也 廣若阿林

MACHINE CRAFT

●平成29年度明るい選挙ポスターコンクール

文京区優秀賞 1年 佐久間穂香
佳作 1年 内海多瑛 野原彩夏

●ジュニアマイスター シルバー

岩淵いづみ 関谷月 都澤基
本田萌子

●計算技術検定

1級合格 関谷月 都澤基
岩淵いづみ 本田萌子

INTERIOR

●第11回ものデザインコンテスト

クラフト部門
優秀賞 2年 植村明恵
優良賞 2年 石塚佑太郎 佐藤茜

奨励賞 3年 濱野千里
インテリアデザイン部門
優良賞 2年 石塚佑太郎

奨励賞 2年 石原サミラ亜希子
佐々木琉偉

●イベントアート甲子園2017

最優秀賞 1～3年 装飾班
●平成29年度住まいのインテリアコーデ

イネーションコンテスト(高校生部門)
奨励賞 2年 楠倉美希

●第32回デザイン甲子園

(全国高等学校インテリアデザイン展)
最優秀学校賞 東京都立工芸高等学校

文部科学大臣賞 3年 伊藤聖樹
(二財)生活用品振興センター理事長賞

2年 村井里帆
毎日新聞社賞 2年 岩崎蒼

●日本の木を使うインテリア 家具・建具・雑貨 コンペティション

優秀賞 3年実習施工班(共同制作)
準優秀賞 2年 佐々木琉偉 他
(共同制作)

●建設系高校生作品コンペティション

2017

家具部門最優秀賞 3年 高木愛

家具部門CCI東京特別賞

製図部門最優秀賞 3年 八幡萌乃

模型部門審査員特別賞 3年 宮崎拓未

技能検定3級家具製作(家具手加工作業)

東京都職業能力開発協会会長賞 3年 伊藤聖樹

●2017染織意匠圖案コンペティション

金賞 3年 亀田結愛

入選 3年 松原佳奈

●名古屋学院大学商学部POPコンテ

スト2017 総合部門

最優秀賞 3年 山中彩音

奨励賞 3年 嶋崎美侑 高田来未

●2017年度8020運動ポスター

優秀賞 3年 嶋崎美侑

入選 3年 小林毬乃 高田来未

●第13回IPA「ひろげよう情報モラル・

セキュリティコンクール」2017

ポスター部門

優秀賞 3年 高橋倭生 星野天美

長谷川蘭 平田琴

●全国暴力追放運動ポスターコンクール

インターネットを利用した犯罪の被害

防止の部 優秀賞 2年 石塚沙樹

●川カシャ! 2017 第36回川の

写真コンクール

銅賞 1年 加藤夏鈴

佳作 3年 杉山理佐

●第30回 道のある風景写真コンクール

ビックカメラ賞 3年 戸田怜覧

努力賞 3年 瀬之口知宙 小林毬乃

●OAC学生広告クリエイティブアワ

ード2017

DHCアワード映像部門

3年 高橋菜々花

3年 明星食品アワード映像部門

3年 戸田怜覧

パイロットアワード映像部門

3年 平田琴

●『夢中になれる』動画コンテスト

最優秀賞 3年 新道伊吹

学生賞 3年 小張美穂

●色彩検定(冬期) 1級合格

1年 長谷川珠乙

●高校生ポスター甲子園

奨励賞 3年 大作萌

入選 3年 安部彩咲 斎藤ひな

●拓殖大学工学部ORANGE CUP

2017アイデアのタネコンテスト

審査員特別賞 3年 谷口楓

入選 3年 新井弥奈 佐久間怜亜

●第55回全国ファッションデザインコ

ンテスト 高校生デザイン画の部

佳作 3年 横山翠南

●東京都高等学校工業科生徒研究成果

発表大会

ポスター採用 3年 松枝暦

●文京区ポスターコンクール

最優秀賞 2年 松野文音

入賞 3年 松田莉奈

2年 木村紗妃 春原未来

●文京シビックオペラ「愛の妙薬」

チラシイラスト採用 3年 鈴木裕介

●おしま手づくり絵本コンクール2017

朝日新聞社賞 3年 横山翠南

NHK富山放送局長賞

3年 佐久間怜亜

毎日新聞社賞 3年 鈴木裕介

●(冊子)々翔 専門高校生徒体験発

表紙・作文・研究文集

表紙原画採用 2年 藤村華

●明るい選挙啓発ポスターコンクール

東京都入選 1年 永井遙

●高校生アトライター大賞

優秀賞 2年 西川菜那

入選 2年 松浦ももか

●全日本学校ポスター甲子園

準グランプリ 3年 森谷百花

●文京区社会を明るくする大会

パンフレット表紙原画採用

3年 中安さくら

●レタリング技能検定

3級優秀賞 2年 石崎友香 藤村華

1級文部科学大臣賞 2年 箱田直生

●色彩検定(冬期)

1級合格 2年 西川菜那

.....

●退職(敬称略・順不同)

石川佐代美 理科(専修実習助手)・定

清水 一忠 非常勤 工業(工業系)・定

○就任(敬称略・順不同)

藤山 太郎 英語・全(新規採用)

大嶋 亮平 工業(工業系)・全(八王子桑志)・全

廣川 賢 工業(工業系)・全(六郷工科)・全

坂本 和貴 工業(機械系)・全(正規採用)

荻野 栄一 非常勤 工業(機械系)・全(中野工業)・定

小泉 吉昭 非常勤 理科・全(江東商業)・全

大森 一徳 非常勤 理科・全(民間企業)

菅原有紀子 国語・定(第三商業)・全

佐々木琢也 地歴・定(東久留米総合)・全

萬 真一 英語・定(大島)・定

新井 萌 保健体育・定(紅葉川)・全

中村 一三 工業(機械系)・定(北豊島工業)・定

長 幸子 養護・定(王子特別支援学校)

藤田 明子 理科(専修実習助手)・定(荒川薬)・全

した。就任された先生方、後輩のご指導と同窓会をよろしくお願い致します。

○転任(敬称略・順不同)

紫竹 悠子 国語・全(紅葉川)・全

神庭 郁 理科・全(再任用 工業)・全

土屋 貴子 英語・全(目黒)・全

市村茉莉子 工業(工業系)・全(総合工科)・全

沼田 千佳 工業(工業系)・全(八王子桑志)・全

沼田 千佳 理科(実習助手)・全(江東商業)・全

小沢 優 国語・定(忍岡)・全

鈴木 毅 地歴・定(八王子拓真)・定

宮崎 友貴 英語・定(小石川中等)・全

小林明日香 保健体育・定(忍岡)・全

豊嶋 秀和 工業(機械系)・定(杉並工業)・全

井出まゆみ 養護・定(世田谷区立三宿中)

榎本 遼 工業(機械系)・定(総合工科)・全

○退職(敬称略・順不同)

石川佐代美 理科(専修実習助手)・定

清水 一忠 非常勤 工業(工業系)・定

○就任(敬称略・順不同)

藤山 太郎 英語・全(新規採用)

大嶋 亮平 工業(工業系)・全(八王子桑志)・全

廣川 賢 工業(工業系)・全(六郷工科)・全

坂本 和貴 工業(機械系)・全(正規採用)

荻野 栄一 非常勤 工業(機械系)・全(中野工業)・定

小泉 吉昭 非常勤 理科・全(江東商業)・全

大森 一徳 非常勤 理科・全(民間企業)

菅原有紀子 国語・定(第三商業)・全

佐々木琢也 地歴・定(東久留米総合)・全

萬 真一 英語・定(大島)・定

新井 萌 保健体育・定(紅葉川)・全

中村 一三 工業(機械系)・定(北豊島工業)・定

長 幸子 養護・定(王子特別支援学校)

藤田 明子 理科(専修実習助手)・定(荒川薬)・全